



英語科「単元：My Activity Report」 3年2組での実践

1 本時の授業について

○ 自分の考えをもつ手だて

スピーチする内容を「①自分が取り組んだこと」「②したこと」「③みんなへのメッセージ」の3観点で考えさせたり、教科書 P51「Word Room」を参考にさせたりすることで、即興スピーチについての自分の考えをもてるようにしました。

○ 仲間と対話をして考えを深める手だて

グループでの発表で、分かったことや知りたいことをメモさせてアドバイスさせたり、他のグループの生徒のスピーチ原稿に付箋紙でアドバイスを示すようにさせたりすることで、即興スピーチについての考えを深めることができました。

2 授業の様子

スピーチする内容の3観点について、まずはキーワードを挙げさせると、Word Roomを参考にし、また、英語が分からない場合は日本語で書き出していました。その後、例文も参考にし、スピーチについて自分の考えをもつことができました。

グループでの発表では、主に分かったことをメモしていました。アドバイスをする生徒もいました。他のグループを回ってスピーチ原稿に、付箋紙でアドバイスを示す活動では、付箋紙が1、2枚貼られていました。その付箋紙の内容を見て、右の写真のように、スピーチ原稿を見直すことができた生徒もいました。付箋紙により視覚的にアドバイスを受けることにより、考えを深めることにつながりました。

Step 2
Step 1の表にならって、自分の部活動や委員会・係などの活動について報告したいことを考え、キーワードを書きだしましょう。p51の

① 部活動など自分が取り組んだこと	三選会	キーワードを記入
② ①でしたこと 経験	give my best performance on stage	
③ みんなへのメッセージ		

Step 3
Step 2の活動報告について、自分が話した文を書き起こしましょう。

① 部活動など自分が取り組んだこと	I'm going to tell you about football. I'm a member of samurai.	
② ①でしたこと 経験	I give my best performance on stage.	
③ みんなへのメッセージ	Have a nice day.	スピーチ原稿を記入

経験したことをメモする時にせんたから??

I'm going to talk about soccer. I'm a member of samurai. I practice very hard with member. So we give our best performance on stage. Thank you for listening. Have a nice day.

付け加えた1文

考えが見直された学習プリント例

英語科「単元：Homestay in the United States」 2年2組での実践

1 本時の授業について

○ 自分の考えをもつ手だて

教科書の例文や学習カードに掲載した「Tool Box」を参考にすることにより、家のルールを伝えるための文章についての自分の考えをもてるようにしました。

○ 仲間と対話をして考えを深める手だて

グループでの発表を通して、分からない表現を友達から教えてもらったり、友達の発表を参考にしたりして、家のルールを伝えるための文章についての考えを深めることができました。

2 授業の様子

教科書の例文や学習カードに掲載された「Tool Box」を確認した後、家のルールを伝えるための文章を考えさせると、それらを参考に自分の考えをもつことができました。多くの生徒が must を用いることができました。しかし、must not を用いることができない生徒が何人かいました。

グループでの発表では、右の学習カード例のように、友達の発表から参考になった表現を書き留めていました。そして、自分の表現に生かして考えを深める生徒もいました。また、表現仕方が分からず、発表時に友達に教えてもらうことによって、考えを深めることにつながった生徒もいました。

must(not)を活用して、自分の家のルールを書いてみよう。

- I mustn't use a smart phone when I have a meal.
- I must study every day.
- I must eat together.
- I must play together with my brother.
- I mustn't tell a lie.
- I must come home around 6.

教科書の例文や「Tool Box」を参考に記入

《 Tool Box 》

食事のとき	use chopsticks	はしを使う	eat together	いっしょに食べる
	say itadakimasu before I have a meal	食事の前に「いただきます」と言う		
	say gochisousama after I finish a meal	食事の後に「ごちそうさま」と言う		
	pick up the rice bowl when I have a meal	食べるときに茶碗をもつ		
	eat without leaving anything	残さず食べる		
	use a smartphone when I have a meal	食事の時にスマホを使う		
その他の場面	play together	いっしょに遊ぶ	tell a lie	うそをつく
	go to bed at 10		get up at 6	
	speak ill of others	他人の悪口を言う	hit someone	誰かをたたく
	come home around 6	6時ごろに帰宅する		

《 Other Expressions 》

(友だちの発言から、覚えておきたい表現)

I must not exchange some thing.

友達の発表から参考になった表現を記入

記入された学習カード例

保健体育科「単元：走り幅跳び」 2年1・2組（女子）での実践

1 本時の授業について

○ 自分の考えをもつ手だて

走り幅跳びをしている姿を動画で撮り、前時の動画と比較して、学習した走り幅跳びの跳び方のポイントから、課題についての自分の考えをもてるようにしました。

跳び方のポイント

- 助走：15歩の助走のスタート位置、踏み切り前の3歩のリズム「タン・タ・ターン」
- 空中姿勢：踏み切った後の膝の引き上げ
- 着地：前に出して、そろえた両足

2 授業の様子

前時の取組から、どの跳び方のポイントを課題とするのか選ぶようにして、右の写真のように練習しました。練習中、「今の3歩のリズムはよかったよ」「うまく跳べたね」と、声を掛けている生徒もいました。



課題による練習の方法

練習後、タブレットPCのカメラ機能で動画を撮影し合いました。そして、前時に撮影した動画と比較をして、跳び方の違いを考えました。生徒は、動き方の変容や跳んだ感触を振り返って、右のように次の課題を見付けることができた生徒が多くいました。

○ 助走の歩数も安定してきた。力強く高く前に跳ぶことができた。次は足をしっかり前に伸ばして着地できるように着地の練習をする。

○ 助走が長くて3歩のリズムが合わなかったけれど、50cmずつ短くしたら21mのところでもうまく跳ぶことができた。次は、空中姿勢を課題にしようと思う。

生徒の記述例

数学科「単元：関数 $y = ax^2$ (いろいろな関数)」 3年1組での実践

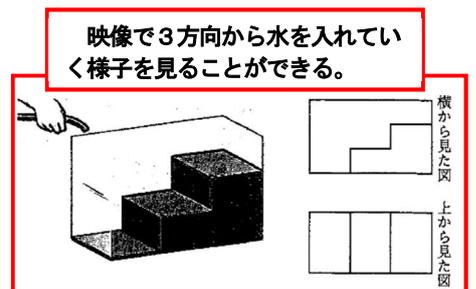
1 本時の授業について

○ 自分の考えをもつ手だて

右のようにデジタル教科書の水を入れていく様子を示すことによって、時間と水面の高さの変化の特徴を視覚的に捉えやすくし、グラフの特徴と関連付けて自分の考えをもてるようにしました。

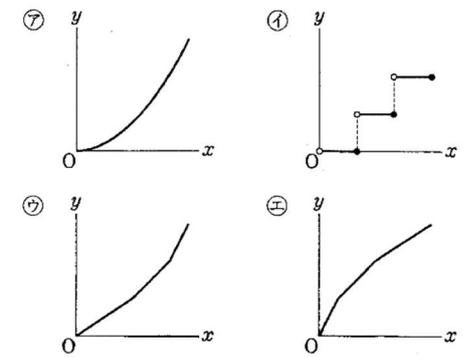
○ 仲間と対話をして考えを深める手だて

4人の小グループで、右の㊶～㊸のどのグラフになるのか、または、正解となるグラフ以外のグラフになる水槽について、検討することによって、時間と水面の高さの変化の特徴をグラフの特徴と関連付けて考えを深めることができました。



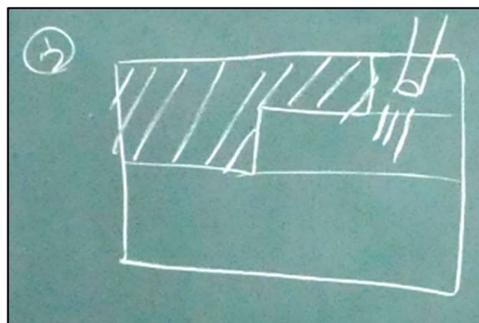
2 授業の様子

デジタル教科書の水を入れていく様子を示すと、底が階段状になっているため、次の段に水面が到達すると底面積が広がり、それによって、水面の高さが緩やかに上昇していく様子がよく分かりました。そして、どのグラフになるのかを予想させると、㊸のグラフを選ぶ生徒が多く、自分の考えをもつことができました。

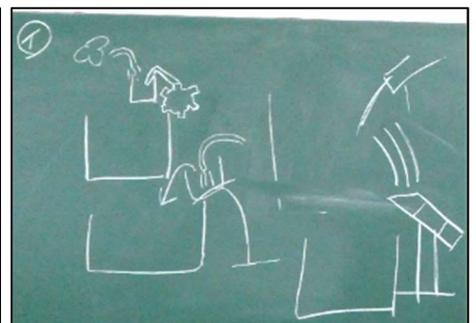


小グループでの話し合いでは、段による底面積の広がり、それによる水面の上昇の仕方の変化に着目して、どのグラフになるのかを確認していました。その後の発表においても、適切に説明をすることができました。そして、グラフの傾きが緩やかになっていくことを、教師が押さえました。

㊶や㊷のグラフになる水槽を考えさせると、小グループで話し合い、右の写真のように黒板に図を描いて説明することができ、時間と水面の高さの変化の特徴をグラフの特徴と関連付けて考えを深めることができました。



上の方が狭くなっていく水槽



一定の時間にたまった水が水槽に入る仕組み

この実践では、4人の小グループの話し合いによる考えの深まりが明らかになりました。